

会 議 要 旨 書

会議名	第 21 期三鷹市立図書館協議会 第 10 回定例会
日 時	令和 4 年 9 月 22 日（木）午後 2 時
場 所	三鷹市立三鷹図書館（本館）第 1 集会室
出席委員 （10 人）	山下政一 小谷奈保子 松田秀穂 倉田清子 間部豊 大塚敦子 松本直樹 土屋菜々 横山和男 並木茂男（敬称略）
欠席委員 （2 人）	梅林愛子 福島健明
行政職員 （5 人）	三鷹市立三鷹図書館館長 大地好行 図書サービス係長 池上真理子 管理係長 榛澤孝 管理係主事 岩崎祐美
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0 人
<p>【議事】</p> <p>1 前回の協議内容の確認について 修正あり。</p> <p>2 行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地館長 配付資料「図書館協議会行政実績・予定報告（9月15日～10月19日）」に沿って説明 ・A 委員 「わん！だふる読書体験」では、犬は退屈しないのか。 ・大地館長 読書サポート犬の訓練を受けている犬なのでおとなしく聞いている。 ・B 委員 応募人数はどのくらいか。 ・大地館長 受付は2日目で申込終了となった。これまでの実績では申込受付開始してすぐに申込終了となる人気のイベントである。 ・A 委員 リピーターが多いのか。 ・大地館長 参加者のリストを保存していないのでリピーターが多いかわからない。今回はたくさんの方に来ていただくというよりも、まずとりあえず再開を試みるということを重視した。 ・B 委員 おはなし会はまだ予約制か、予約制をやめる気はないか。 ・大地館長 三鷹市の対応としても感染予防対策をしたうえで事業を進めるという基本的な考え方を取っているので、図書館としても予約制を外すということはなかなか難しい。 ・B 委員 おはなし会はしゃべるわけでもなく一方向を向いて黙って聞いているお子さんが多い。マスクさえしていれば大丈夫なのではないか。事前予約だと参加者が少なく、予約制のため申し込みが全くない時もある。 ・大地館長 それは本当に申し訳ないと思っている。ただ当然空きがあれば来館者でも参加できるようにしている。 	

- ・B委員 小さいお子さんがいる方にしてみれば、予約制はハードルが高いと思う。
- ・大地館長 そのとおりだと思う。ただ当日の予約枠が開いていない例はあまりないので、参加は可能だと思う。当日参加のアナウンスは継続して行っていきたい。

- ・大地館長 配付資料「開館時間延長試行結果」に沿って説明

- ・C委員 延長した分の利用率は通常開館した時の利用率とそれほど変わっていないか。
- ・大地館長 そうですね。
- ・C委員 延長した分利用者が増加したとは捉えないのか。
- ・大地館長 時間を長くして来館者が増えているということはお見込みのとおりです。ただ、それを支えるためにコストを考えないわけにはいかない。最低限2人必要になると考えている。費用対効果の面で検討の余地はある。今回の試行は17時閉館だと図書館には来れないというご意見があった始まったものである。新規の利用者が増加したのではなく、既存利用者が遅く来ているだけという傾向があると思う。アンケートの内容では開いてよかったというご意見をいただいたが、開館していたから初めて来たという利用者はいなかったと思える。今回初めて図書館をご利用された方だとか、普段図書館に来てないけど来てみたという方は、アンケート上はなかった。
- ・D委員 今回アンケートの資料はありませんか。アンケートは実施されたのか。
- ・大地館長 アンケートはとっているが、まだまとめていないので今回はお示しできない。夜間開館延長についてはやっただいてよかったという好意的なご意見をいただいている。
- ・B委員 コストの件ですが本の貸出だけなら、アルバイトを雇用すればコストが抑えられるのではないか。
- ・大地館長 会計年度任用職員にすれば、人件費が違うのでコストも下がる。来年も試行を続けるようにという考え方が示されているので、今回の結果だけで方向性を決めるつもりはない。
- ・E委員 今回試行をした間の利用率は低かったが、常に夜開館していると来館者も増えるのではないか。来年度も継続ということであれば、広報みたく早めに広報していくといいのではないかと考えます。
- ・大地館長 図書館利用者以外の市民に広報するのは市報が1番だと思う。また、現状の利用者に対してはもう少し告知を厚くしていくことが可能だと思う。
- ・D委員 継続的に開館していることは効果的だが、一時的だとなかなか難しいという気がした。
- ・F委員 市民としての意見として夜間いつでも空いていてふらっと寄れるのが一番いい。広報に関して、普段図書館に行かない人は、市報に図書館のことが載っていてもそこを見ようとしなと思う。夜間開館していることを告知するのに市報だけでなくほかにも手段があるのではないか。例えば、三鷹市のツイッターとかは使われないのか。
- ・池上係長 時々載せてもらっている。
- ・F委員 今回の夜間開館の情報は載っていなかった。ツイッターに当日夜間開館している旨の情報を掲載させればまた違った反応があったかもしれない。
- ・大地館長 当日ツイッターを使うことは思いつかなかった。次回から検討します。
- ・D委員 夜間開館は議会等で話題となり、職員の勤務体制等で難しいのはよくわかりますが、委

託や指定管理にするなど、一定の経費を掛けることで、夜の10時まで開館することは可能であり、意外と市民のニーズはそのあたりにあるのではないかと。そういった議論に傾いて行ってしまおうとかいろいろ難しいとは思っている。

・大地館長 サービスとして考えたら短期的な意味では委託してしまった方が市民としては利便性が上がると考える。我々としては、直営で職員がやっているということを市民の方にどうやって認めていただけるのかを考えていかなければならないと思っている。

・D委員 努力をしていただければと思う。

・大地館長 配付資料「月曜祝日開架試行実績」に沿って説明

・D委員 祝日の月曜日に開館して代わりの休館日はあったのか。

・大地館長 翌日の火曜日を休館した。ハッピーマンデー対応のアンケートでは、火曜日休むなら従来でおおりの月曜を休館日として欲しいというご意見もありました。

・D委員 試行を続けていくということですね。

・大地館長 来年度も試行を続けます。

・F委員 祝日に開館した方が、新規利用者の取得につながるのではないのでしょうか。既存利用者は祝日開館後の火曜日が休館日でも次週の火曜日に利用ができるので、祝日開館を試行から正式運用にした方が良いと思います。正式運用にしないのはどういったデメリットを感じているのでしょうか。

・大地館長 夜間開館と同じで普段来館されない方に来ていただきたいということで、月曜祝日開館の試行を行ったが、アンケート結果からは効果が確認できなかった。

・F委員 祝日開館をすることで普段来ていない方が来てくかどうかは分からないが、チャンスは広げておくという方に視点を合わせるか、いつも来てくださっている人たちに寄り添う方に視点を合わせるか、どちらのほうに視点を合わせるかのように思える。

・大地館長 実態として祝日開館した時に来館者数が火曜日に開館した時よりも少ないという結果になっている。

・D委員 今回の経験を生かして、来年度も試行を引き続き、続けてください。

・大地館長 ぜひ図書館に来ていない方に来館してもらうように努力する。

3 今期の提言にかかる検討について

・D委員 配付資料「三鷹市立図書館の蔵書分析」に沿って説明

・D委員 貸出密度のグラフの2010年、2011年ごろに一度上昇しているがなにがあったか。

・大地館長 ICタグの稼働の時期ではないか。

・D委員 図書館の方から気づいたことはあるか。

・大地館長 価格の安い本が借りられていることについて、一概に安い本ではない。価格と貸出率のグラフにおいて、三鷹図書館で0円の本があるが、それは寄贈本と弁償本である。また文庫を求められている利用者がすごく多い。同じ本でも一般単行本と文庫だと読む人が違うと考える。

・B委員 小さいから持ち運びしやすいの。

- ・D 委員 ほかに何かご意見あるか。
- ・A 委員 予約について、申し込みをしたら予約になるか、それとも 2 番目以降の場合に予約になるのか。
- ・大地館長 予約した時点で予約となる。
- ・C 委員 今回の分析は、一般的な貸出の傾向がデータで出たという感じがして面白い分析だと思う。価格帯でというのは文庫のお話もあったように、携帯性を重視してる方がそれだけ多い。ハードカバーの重さを考えると文庫の方が借りやすい印象を受けた。図書館ごとの違いについてももう少し分析が必要だと感じた。
- ・D 委員 図書館で今後背景を分析してほしい。
- ・大地館長 東部についていえば、東部図書館の近隣にマンションが建設されたことで、利用者が一気に増えた。人口増とリンクしている。西部についてはそもそも人口密度が低いのと近くに深大寺図書館や武蔵野プレイスがあるので、そちらを利用しているケースが多いと考えられる。
- ・D 委員 ここから提言に結び付く示唆を考えていくことにする。

4 POP 大賞の選考について

選考の結果、「もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら」が図書館協議会賞となった。

5 視察について

次回以降に見送り

6 その他

今回は令和 4 年 10 月 20 日（木）午後 2 時から三鷹図書館第一集会室で開催